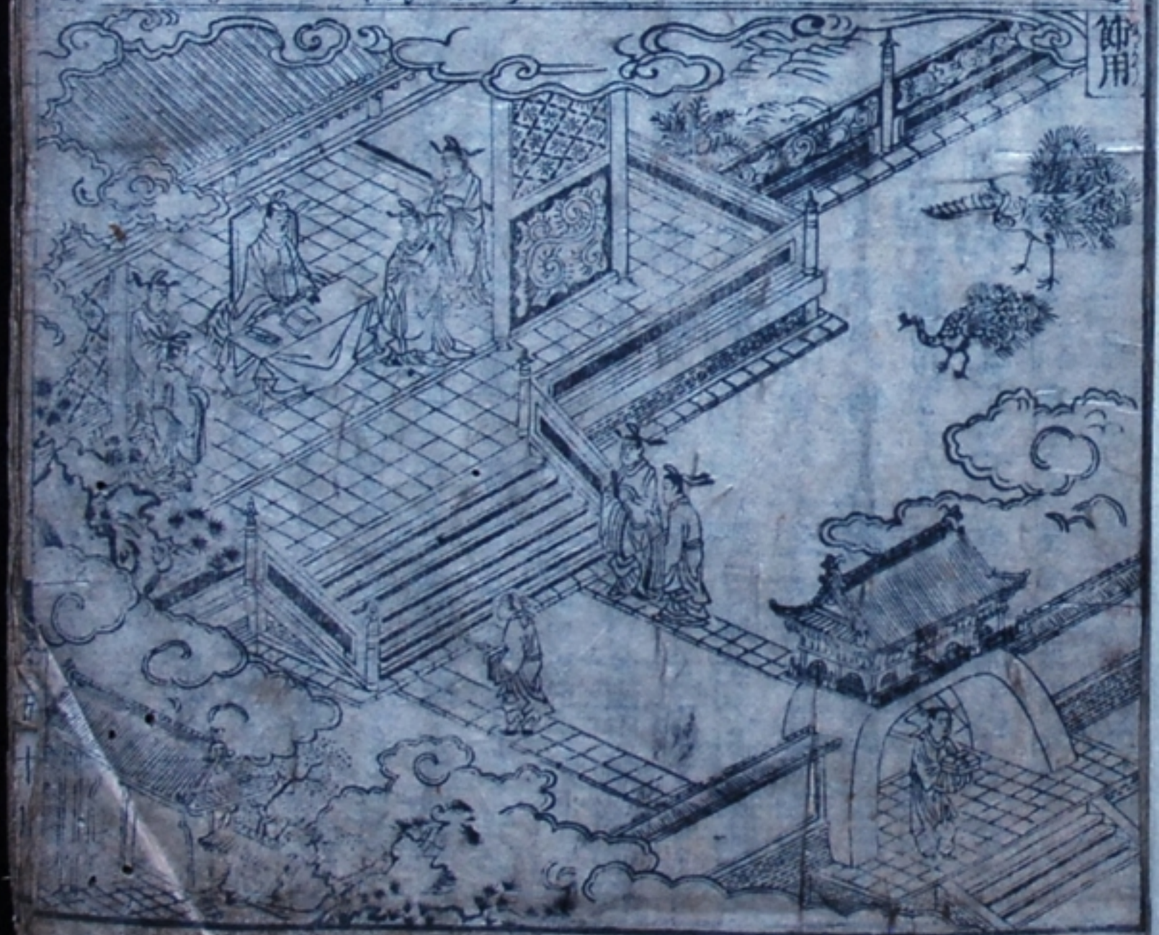
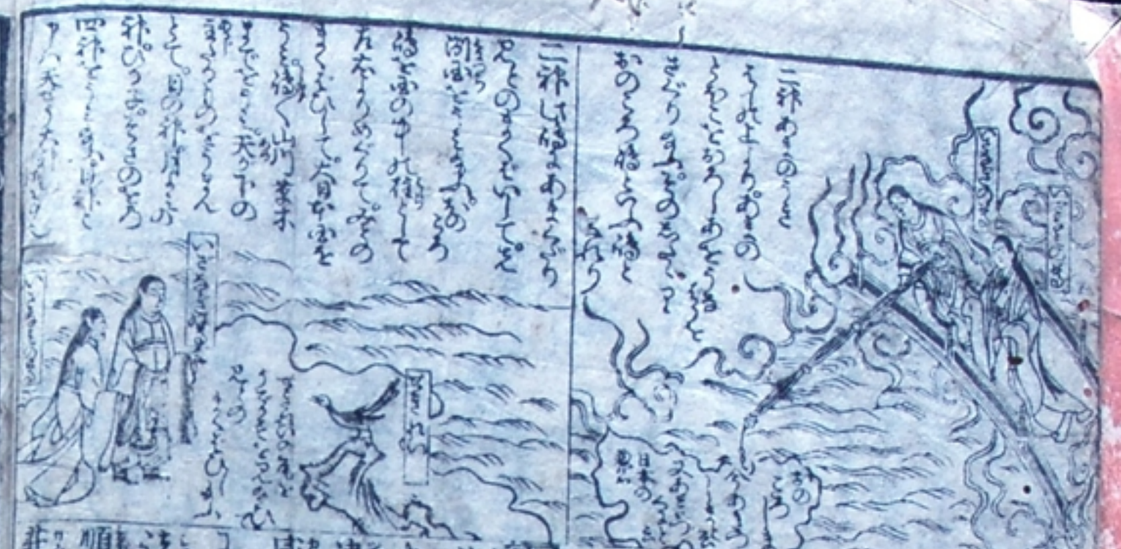
イロハニホヘトハチリヌルヲ
いろはにほへと ちりぬるを
諸行無常
ワカヨタレソツネナラム
わかよたれそ つねならむ
是生滅法
ウヰノオクヤマケフコエテ
うゐのおくやま けふこえて
生滅滅已
アサキユメミシヱヒモセス
あさきゆめみし ゑひもせす
寂滅爲樂

一二三四五六七八九十。

京は一ねんくらうの漢字。傳教大師かいはつの三ぬかをもおぼへ。あんやうほうの雪ふりそめし天ぢんは龍宮。常見は能登。日本は草字能名を用ゆ。唯日なれば秘蔵の身ぶるひ。毛見非時の思ひ入。いろは四句の心を知れば。花も紅葉も捨て。うらうらと利益を吹ろうにんとぞ。



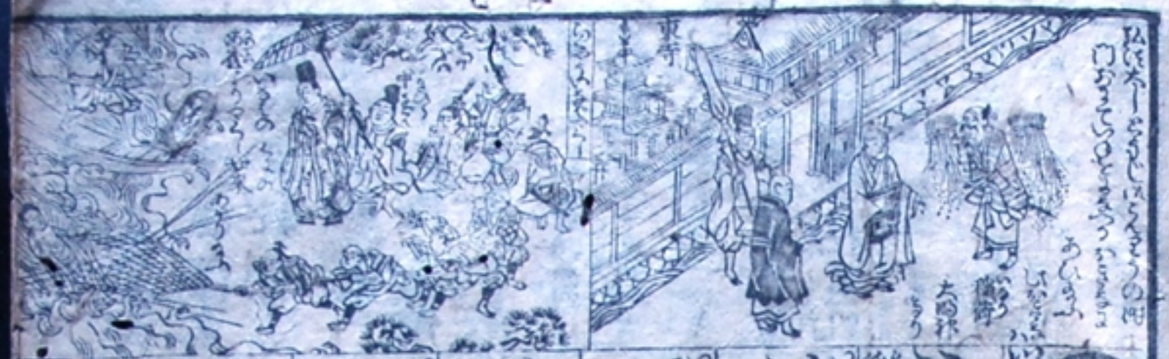




節用惟以よはまる乃の題号を節用集とうつつらるの論語学而篇曰
子曰道千乗之國敬事而信節用而愛人云しんようて
すう言ハ節ハほどよくとゝのふ用ハ財用のまつぴとうて財宝をあつめ
必と節をたてよくとゝのふ乃ち用ハ財用とうつくしむ
ようとゝ。むくとれば紙とういやさとゝ。民をとゝこをにぴ節用とゝ云々しまる
こ節用乃字と用ひるもよろしからす
に用ると字をほどうつくしむ
ようあるとゝ。節用愛人とあれば。用ると字をあうひくしまるよりあつめて。
愛人乃たとうとゝれて。人をあいするのこゝ節用集とゝなづくるもの。

乾 易の八卦とおのゝ方位ハ乾ハ北乃方坤ハ南西乃方震ハ東
北乃艮東南乃巽。西南ハ坤。西北ハ乾とゝ故ゝ乾乃字と真ゝ乾とうつくしむ
也。已文王八卦乃方位也ゝ雷公王充論衡曰闘雷之狀纍纍如
連鼓形而聞。千人若力士謂之雷公云又淮南子曰陰陽相薄
感而為雷云。按ずるゝ今雷云乃綸ゐ鬼のうつくしきとゝろゝ按とゝろゝ也ゝ
ゝ連れうたねと爲ゝうの蓋論衡の説ようて也雷乃ゝの性質大全なとゝ乃
説をよくうつくゝ玩れ。
れゝを牡いうるもとゝふゝ分ぬよゐとゝ侍るとゝ 霹靂

いつるゝ稲妻俗ゝ稲神とゝ
誘ふいきひうりとゝれゝ稲をゝ孕ゝせゝうゝ神乃ゝとゝ云ゐ
大明神ゝ本朝神社考曰和銅年中此神始現伊奈利山下層巖峰又ハ
東寺乃縁起の説ゝは伊奈利大明神ゝ弘法大師ゝある時逢立乃時花ゐのこゝあり
るふ。明神約束うりまて。ゝ。ゝ。ゝ





▲文章習ふ　求むること終ふ

時候　昔　入晩　遂ふ　日没　十六夜　豕子　朝ア　昨夜　一周忌　生ル　見ル　夷則　従ヒ　古ム　古ヘ

神祇　伊勢

▲二百川　伊勢うたう　志　生田流　別　生ル　百川　伊勢うたう　紀貫之　貫流　伊勢の国　川瀬　貫通　石紙　向瀬　面瀬　面瀬　面瀬　勧む　者　ふこと　ふ　ふ　ふ

漸次 次第 祝儀 祝儀 言祝ぐ 頌める 褒める 褒美 賞美 賞める 賞状 賞牌 賞与 賞金 賞品 賞典 賞賜 賞讃 賞揚 賞誉 賞嘆 賞翫 賞観 賞味 賞玩 賞用 賞罰 賞罰 賞罰

一書す様 ものすごい 乱辻 私欲 乱れ

一眩し 眩い

一花瓶 花活 活ける

一急ぎ 急ぐ 早く 急ぎ 早く

一花瓶 大花 花活 瓶を 花活 大きい

一剪刀 剪る 剪刀 同断 同様

一誘導 誘う 導く 同断

一償金 償う 償い

一数枚 枚数 一枚 又一枚 又一枚

一行燈 行燈袋 袋物

一巨細 委細 細工

一万端 万端 整う 巨細 具備 備る

一千代 洋書 一二

一人事 幾久 巳久 永久 永く

一末広 末広 扇子 扇 広げる

一男人 頭取 取扱 扱う

一男人 支配 配る 扱い

一手代 代る

一洗い 洗う 一見 見る

一眼鏡 眼 鏡

一老眼 老い 眼鏡

一神かけ 神 かけ 且 傍

一弥増 弥 増す 頭痛 痛む

一無事 無い 事 合う

一万一 万 一面 一揃 一揃

一手代 代る 一寸 寸法 一尺 尺 一尺 尺 一尺 尺 一尺 尺

お古来書籍者
先例先規先年例
学問順例習手
同舎表中郷他國
隣長ク美遊
一生汗水。名誉
重モ許多ヲ色ヲ
節
名聞。欲ハ骨ヲ去。堂塔ヲ造ル。
名聞貪欲ノ為ニ
花モ開ク賢道
術
貪欲ハ因縁ノ
果ニ囚ハレ
縁
因縁ノ果ハ乱ル法ヲ犯ス事。未
来ニ
威儀ヲ
因縁ノ果ニ
因縁ノ果ハ乱ル法ヲ犯ス事。未来ニ威儀ヲ
重モ許多ヲ色ヲ節
名聞。欲ハ骨ヲ去。堂塔ヲ造ル。
名聞貪欲ノ為ニ花モ開ク賢道術
貪欲ハ因縁ノ果ニ因縁ノ果ハ乱ル法ヲ犯ス事。未来ニ威儀ヲ
家
愛ヲ仮。染ム安
尊
伊美恋
變ル倚賴
今
般時
様
色
葉
壹
越ス
追
近衛院
号
唯シ名利ニ
義
忙
利鬼
早
目モク
忙。
隣
寵愛ス
天命
長ニシテ
命イノチ
労
散
労
把
好ム色ヲ
嫌
経
巻
器量分
已ニ
久ク光
彩色
所
開ク
家土
至
道
生
命霊
神仙
感勲
唯
卑
軍陣
例
祈
橋
至
道
逮
多
到来
致
偽
詐
聊
加
勘
勘
逃
敗ル
嘯
悩
悩
悩



誡禁棒。惹悠厳仁恵慈洗剃痛悔傷悔疾罷。契魅魂。契約。約束。約定。約束。約定。約束。約定



言語 る森 人命のはかなきことたとふるに二世ともいひ朝につくして夕べにうしなふことをいふ

御書 ふぜい 北與 義 雅頌 齊 日 非甘昔 波羅蜜 施戒 忍精 禪智 高 牛羊 馬 犬 雞 風賦 山門 勅使坊 滿達 脫ス 穢 人也 晴言 引 論談 判 職 辺 府 人 新 路頭 人 居 直ス 居 人 銀 銭 錄 也 都合 概ム 丈 尺 法堂 坊舍 跡 中門 殿 破風 番所 堂家 垣 根下 博多 百濟 國 跋提河 百鬼 夜行 夜 大菩薩 王子 神 半女 社 官代 名 司 廣 辻 判官 代 名 白山 權現 波利 寶 女 社 歲德 半女 社 八月廿三日 八幡 大菩薩 王子 山 野 山 城 國 水 鹿 尾 青 橋 綠 青 瞳 腎 念 妻子 意 親 兄弟 入母 舅 天眼 天耳 他心 宿命 神境 通 塵 觸 法 香味 乳 色聲 肺 肝 膽 鹿 水 鹿 尾 橋 綠 青 瞳 腎 念 妻子 意 親 兄弟 入母 舅 天眼 天耳 他心 宿命 神境 通 塵 觸 法 香味 乳 色聲 肺 肝 膽

徳摺漆水襲綠青

御書 六根 眼耳鼻舌 身意 一親 妻子 脾腎念 風賦 北與 義 雅頌 齊 日 非甘昔 波羅蜜 施戒 忍精 禪智 高 牛羊 馬 犬 雞 山門 勅使坊 滿達 脫ス 穢 人也 晴言 引 論談 判 職 辺 府 人 新 路頭 人 居 直ス 居 人 銀 銭 錄 也 都合 概ム 丈 尺 法堂 坊舍 跡 中門 殿 破風 番所 堂家 垣 根下 博多 百濟 國 跋提河 百鬼 夜行 夜 大菩薩 王子 神 半女 社 官代 名 司 廣 辻 判官 代 名 白山 權現 波利 寶 女 社 歲德 半女 社 八月廿三日 八幡 大菩薩 王子 山 野 山 城 國 水 鹿 尾 青 橋 綠 青 瞳 腎 念 妻子 意 親 兄弟 入母 舅 天眼 天耳 他心 宿命 神境 通 塵 觸 法 香味 乳 色聲 肺 肝 膽 鹿 水 鹿 尾 橋 綠 青 瞳 腎 念 妻子 意 親 兄弟 入母 舅 天眼 天耳 他心 宿命 神境 通 塵 觸 法 香味 乳 色聲 肺 肝 膽

六根 眼耳鼻舌 身意 一親 妻子 脾腎念 風賦 北與 義 雅頌 齊 日 非甘昔 波羅蜜 施戒 忍精 禪智 高 牛羊 馬 犬 雞 山門 勅使坊 滿達 脫ス 穢 人也 晴言 引 論談 判 職 辺 府 人 新 路頭 人 居 直ス 居 人 銀 銭 錄 也 都合 概ム 丈 尺 法堂 坊舍 跡 中門 殿 破風 番所 堂家 垣 根下 博多 百濟 國 跋提河 百鬼 夜行 夜 大菩薩 王子 神 半女 社 官代 名 司 廣 辻 判官 代 名 白山 權現 波利 寶 女 社 歲德 半女 社 八月廿三日 八幡 大菩薩 王子 山 野 山 城 國 水 鹿 尾 青 橋 綠 青 瞳 腎 念 妻子 意 親 兄弟 入母 舅 天眼 天耳 他心 宿命 神境 通 塵 觸 法 香味 乳 色聲 肺 肝 膽 鹿 水 鹿 尾 橋 綠 青 瞳 腎 念 妻子 意 親 兄弟 入母 舅 天眼 天耳 他心 宿命 神境 通 塵 觸 法 香味 乳 色聲 肺 肝 膽

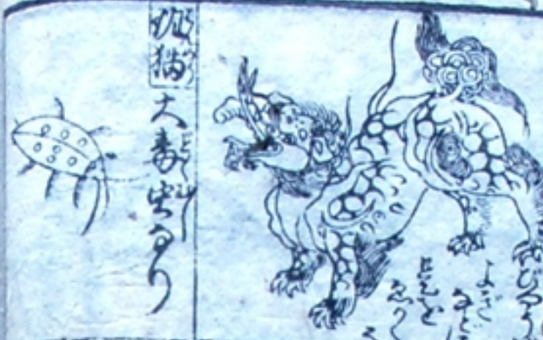
海の一款人一行。

霹靂 雷の名 波濤 大波 路頭 人 銀 銭 錄 也 都合 概ム 丈 尺 法堂 坊舍 跡 中門 殿 破風 番所 堂家 垣 根下 博多 百濟 國 跋提河 百鬼 夜行 夜 大菩薩 王子 神 半女 社 官代 名 司 廣 辻 判官 代 名 白山 權現 波利 寶 女 社 歲德 半女 社 八月廿三日 八幡 大菩薩 王子 山 野 山 城 國 水 鹿 尾 青 橋 綠 青 瞳 腎 念 妻子 意 親 兄弟 入母 舅 天眼 天耳 他心 宿命 神境 通 塵 觸 法 香味 乳 色聲 肺 肝 膽 鹿 水 鹿 尾 橋 綠 青 瞳 腎 念 妻子 意 親 兄弟 入母 舅 天眼 天耳 他心 宿命 神境 通 塵 觸 法 香味 乳 色聲 肺 肝 膽

#







防猫人形 猫を防ぐ人形

猫 大毒虫なり

人倫

仲哀の仕 鎌倉 大将 源 頼朝 公 家来 畠山 重忠 坂住 佐藤 継信 忠信 兄弟 静 御前 義経 愛妾 弁慶 主従 武蔵坊 正妻 北條 政子 侍女 阿波 局 乳母 比企 尼 嫡子 頼家 次男 実朝 孫 公暁 曾我 兄弟 十郎 祐成 五郎 時致 工藤 祐経 伊東 祐親 娘 八重姫 祐親 家来 伊豆 次郎 祐親 孫 千鶴丸 和田 義盛 子 朝比奈 三郎 義秀 梶原 景時 子 源太 景季 平次 景高 三浦 義澄 子 義村 和田 義盛 妻 巴御前 木曽 義仲 妻 山吹 義仲 家来 今井 兼平 樋口 次郎 兼光 義仲 従弟 行家 源 義経 家来 武蔵坊 弁慶 静 御前 義経 愛妾 伊勢 三郎 義盛 家来 亀井 六郎 重清 駿河 次郎 家来 石井 六郎 常光 佐々木 四郎 高綱 家来 三保谷 四郎 宗親 畠山 重忠 家来 本田 次郎 近常 榛沢 六郎 成清 家来 大串 次郎 重親 梶原 景時 家来 平 三景国 源 頼朝 公 家来 土肥 次郎 実平 子 弥太郎 遠平 土屋 三郎 宗遠 子 小次郎 義清 岡崎 四郎 義実 子 与一 義忠 和田 義盛 家来 朝夷 奈三郎 義秀 子 金剛 義盛 妻 巴御前 義仲 家来 今井 兼平 樋口 次郎 兼光 義仲 従弟 行家 源 義経 家来 武蔵坊 弁慶 静 御前 義経 愛妾 伊勢 三郎 義盛 家来 亀井 六郎 重清 駿河 次郎 家来 石井 六郎 常光 佐々木 四郎 高綱 家来 三保谷 四郎 宗親 畠山 重忠 家来 本田 次郎 近常 榛沢 六郎 成清 家来 大串 次郎 重親 梶原 景時 家来 平 三景国 源 頼朝 公 家来 土肥 次郎 実平 子 弥太郎 遠平 土屋 三郎 宗遠 子 小次郎 義清 岡崎 四郎 義実 子 与一 義忠 和田 義盛 家来 朝夷 奈三郎 義秀 子 金剛

倫人
- 源 頼朝 公 家来 畠山 重忠 坂住 佐藤 継信 忠信 兄弟 静 御前 義経 愛妾 弁慶 主従 武蔵坊 正妻 北條 政子 侍女 阿波 局 乳母 比企 尼 嫡子 頼家 次男 実朝 孫 公暁 曾我 兄弟 十郎 祐成 五郎 時致 工藤 祐経 伊東 祐親 娘 八重姫 祐親 家来 伊豆 次郎 祐親 孫 千鶴丸 和田 義盛 子 朝比奈 三郎 義秀 梶原 景時 子 源太 景季 平次 景高 三浦 義澄 子 義村 和田 義盛 妻 巴御前 義仲 家来 今井 兼平 樋口 次郎 兼光 義仲 従弟 行家 源 義経 家来 武蔵坊 弁慶 静 御前 義経 愛妾 伊勢 三郎 義盛 家来 亀井 六郎 重清 駿河 次郎 家来 石井 六郎 常光 佐々木 四郎 高綱 家来 三保谷 四郎 宗親 畠山 重忠 家来 本田 次郎 近常 榛沢 六郎 成清 家来 大串 次郎 重親 梶原 景時 家来 平 三景国 源 頼朝 公 家来 土肥 次郎 実平 子 弥太郎 遠平 土屋 三郎 宗遠 子 小次郎 義清 岡崎 四郎 義実 子 与一 義忠 和田 義盛 家来 朝夷 奈三郎 義秀 子 金剛

草
- 鼻 鼻 頭 葦 雉 噴 歯 奴 断 乾 酔 咬 牙 腫 痛 疫 病 菰 蔓 菜 芋 薯 蕷 芥 蒲 英 蓉 蒻

数量

八若 生若もし病一死 八相成道 八宗 法相三論倶舎 成實律 華嚴 天台 真言 八虐 不孝 大不敬不 義 悪逆 八卦 千年之永 卦 玻璃 成上也

八重 虎 八百万 人多云

八幡 日本俗 題

八百屋 放或作傍誇 人 意 放 均

八百長 人 意 放 均

八百八町 人 意 放 均

八百八狸 人 意 放 均

八百八声 人 意 放 均

八百八筋 人 意 放 均

八百八人 人 意 放 均

八百八病 人 意 放 均

八百八苦 人 意 放 均

八百八町 人 意 放 均

八百八狸 人 意 放 均

八百八声 人 意 放 均

八百八筋 人 意 放 均

八百八人 人 意 放 均

八百八病 人 意 放 均

八百八苦 人 意 放 均

八百八町 人 意 放 均

八百八狸 人 意 放 均

八百八声 人 意 放 均

八百八筋 人 意 放 均

八百八人 人 意 放 均

八百八病 人 意 放 均

八百八苦 人 意 放 均

八百八町 人 意 放 均

八百八狸 人 意 放 均

八百八声 人 意 放 均

八百八筋 人 意 放 均

八百八人 人 意 放 均

八百八病 人 意 放 均

八百八苦 人 意 放 均

八百八町 人 意 放 均

八百八狸 人 意 放 均

八百八声 人 意 放 均

八百八筋 人 意 放 均

八百八人 人 意 放 均

八百八病 人 意 放 均

八百八苦 人 意 放 均

依怙地 依怙地 依怙地

依怙地 依怙地 依怙地

依怙地 依怙地 依怙地

人倫 人之五倫 人道 尼公 女房 姓 人工 師 身 民 足 歩 日蓮

肢体 面皰 瘡 同 跑痙 肉 人參 肉桂 薬名 陳皮 桔梗 附子 烏頭 大黄 芒硝 甘草 麻黄 石膏 杏仁 桂枝 生姜 大棗 芍薬 黄芩 黄連 人參 半夏 瀉心湯 附子瀉心湯 生薑瀉心湯 甘草瀉心湯 五苓散 猪苓湯 茯苓 沢瀉 白朮 桂枝 人參湯 理中丸 四逆湯 乾姜 附子 通脈四逆湯 白通湯 白通加猪胆汁湯 茯苓四逆湯 通脈四逆加猪胆汁湯 烏梅丸 烏梅 細辛 乾姜 黄連 黄柏 当帰 川椒 桂枝 人參 附子 大黄 牡丹 桃仁 芒硝 抵當湯 抵當丸 桃核承氣湯 桃仁 桂枝 甘草 大黄 芒硝 白虎湯 知母 石膏 粳米 甘草 人參 白虎加人參湯 桂枝 白虎加桂枝湯 竹葉 石膏 半夏 麥門冬 人參 甘草 粳米 竹葉石膏湯 白朮 茯苓 甘草 生薑 附子 白朮附子湯 桂枝 茯苓 白朮 甘草 大棗 生薑 茯苓桂枝白朮甘草湯 甘草乾姜湯 茯苓甘草湯 芍薬甘草湯 芍薬 甘草 附子 芍薬甘草附子湯 桂枝 芍薬 甘草 麻黄 芍薬甘草附子湯 桂枝 芍薬 甘草 麻黄 生薑 細辛 附子 桂枝加芍薬湯 桂枝 芍薬 甘草 大棗 生薑 桂枝加大黄湯 桂枝 大黄 甘草 大棗 生薑 桂枝加芍薬生薑人參湯 桂枝 芍薬 生薑 人參 甘草 大棗 麻黄 杏仁 甘草 石膏 桂枝湯 桂枝 芍薬 甘草 生薑 大棗 麻黄湯 麻黄 桂枝 甘草 杏仁 大青龍湯 麻黄 桂枝 甘草 杏仁 生薑 石膏 大棗 小青龍湯 麻黄 芍薬 細辛 乾姜 甘草 桂枝 五味子 半夏 石膏 大棗 生薑 小青龍加石膏湯



人間万事塞翁が馬 津軽

昔、北面に住める人、天帝の使に逢ひ、其の仙術を授かりて、能く風雨を駆使す。一日、天帝、使を遣はして、之を召さんとす。使、来りて門を叩くに、其の人、門を開かず。使、怪しみて、垣を越えて入り、之を見るに、其の人、既に死して、室内に横たはれり。使、驚きて、天帝に復命す。天帝、曰く、「彼、仙術を得たりと雖も、寿命は、人間の定めに従ふ。死するは、当然なり。」と。

小野篁、勅使として、隠岐国に流さるる時、都を出でて、逢坂の関に至り、一首の歌を詠じて、別れを惜しむ。

わたの原八十島かけて漕ぎ出でぬと人には告げよ海人の釣舟

後に、篁、都に召還さるる時、又、此の関に至り、

わたの原八十島かけて漕ぎ出でぬと人には告げよ海人の釣舟

と詠じて、入京す。

淮南子曰、塞翁之馬、焉知非福、

北面 梵天帝釋 菩提樹 仙花 木瓜 神馬 蓮 鳳凰 波稜草 穂 帯 事林廣記云

山茨菰 鬼燈 鳳凰 牡丹 三月 朔日 一日 十五夜 月 一日 八月 一日 朔日 一日 十五夜 月 一日 八月 一日 朔日 一日 十五夜 月 一日 八月 一日

北辰 北極 そんぴ 五星 あり

北斗 七星 あり 三三 と 魁 ー 六七 と 杓 と なす

北辰

北斗

輔星

梁夜 ある ものこと

梁 左



神仙 天竺 の 教 を 受 り 弥勒 菩薩 の 化 別 し そう 背後 より 同 あり

こと り ある ろ ん べ の を 知 ら ず と 笑 い つ よ ま ず へ ろ と う ぐ

さ り つ そ れ ゆ え そ と り み 虚 の と く 傍 に 此 あ ぶ く ろ と 負 ん て て う ぐ

う ー 布 袋 和 尚 也 ぜ う ー と も

布袋 出生

北辰 北極 そんぴ

五星 あり

北斗

七星 あり 三三 と 魁 ー 六七 と 杓 と なす

北辰

四輔

北斗

輔星

梁夜

ある ものこと

梁 左

位官

弁 官名 尚書作辨

あやまる 別 當 辨財 尻

木偏

拂

拂掃 ほっさう

掘竈 ほりかまど

堀 ほり

堀割 ほりわり

堀江 ほりえ

堀川 ほりかわ

堀留 ほりとめ

堀端 ほりばた

堀抜 ほりぬき

堀井戸 ほりいど

堀出 ほりだし

堀物 ほりもの

堀上 ほりあげ

堀下 ほりさげ

堀埋 ほりうめ

堀浚 ほりさらい

堀留 ほりとめ

堀端 ほりばた

堀抜 ほりぬき

堀井戸 ほりいど

堀出 ほりだし

堀物 ほりもの

堀上 ほりあげ

堀下 ほりさげ

堀埋 ほりうめ

堀浚 ほりさらい

堀 ほり

堀割 ほりわり

堀江 ほりえ

堀川 ほりかわ

すり戸 統服 白。表裏 隔戸 籠壁 障表 裏白 赤 海浜 掌 放屁 片時 早風 生

栖 遅 寒 凪 く 。 へいそく つくろ 。 の 良 場 静 大

舎 響 く 。 海 浜 掌 放屁 片時 早風 生

お 伴 い 。 お 供 い 。 日本紀 俗 野 鄙 遠 郷 野 鄙 遠 郷

希 叶 。 素 も 。 ま 。 豊 葦 原 越 国 山 島 部 山 上 野 養 蚕 部 山 狩 ろ 遠 茅 山

大 格 大 薬 。 輪 車 橋 山 瀧 東 寺 乗 大 寺 五 山 戸 雑 瀬 が 富 田 列 新 し

大 格 大 薬 。 輪 車 橋 山 瀧 東 寺 乗 大 寺 五 山 戸 雑 瀬 が 富 田 列 新 し

梅 老 。 茶 封 漬 古 堰 。 表 。 裏 。 表 非 。 。 。



雪舎鳩巣

鳥獣門

鳩 文選 鵓鴿 鳲鳩 鶻鳩 鳩鴿 鳩鴿 鳩鴿

封(ふう)　筑紫(つくし)の鏡(かがみ)　お仮(かり)　面(おもて)　妻(つま)　東作(あづまさく)　耕(たがや)す　嫁(よめ)　婚(こん)　通(かよ)ひ　釵(かんざし)　金(かね)　牧(まき)　牧場(まきば)　汽船(きせん)　鏡(かがみ)　婦人(ふじん)　衣(きぬ)　領(えり)　脇(わき)　腹(はら)　海(うみ)　風(かぜ)　遠(とほ)　望(のぞ)　外国(がいこく)　村(むら)

写真(しゃしん)

頓写(とんしゃ)　作(つく)る　速(すみ)やか　首(くび)　年来(ねんらい)　談(だん)じ　断(ことわ)り　数(すう)　動(うご)く

花業(かぎょう)

農(のう)　耕(たがや)す　歩(あゆ)み　お来(こ)　便(たより)

富家(ふうか)

東作業(あづまさくぎょう)　名(な)　咄嗟(とっさ)　富(とみ)　栄(さか)え　嫁(よめ)　婚(こん)　通(かよ)ひ　釵(かんざし)　報(しら)せ　届(とど)く

留守(るす)

稽(とど)まる　聞(き)く　捌(さば)く　北(きた)　掃除(そうじ)　済(す)む　無(な)い　仕度(したく)　留(とど)め　少(すこ)し　遠(とお)く　遊(あそ)ぶ

着物(きもの)

着(き)る　着(き)こなし　着(き)物(もの)　縞(しま)　縮緬(ちりめん)　絣(かすり)　尖(とが)る　寒(さむ)い

代(かわり)

太(ふと)い　琴(こと)　爪(つめ)　弾(ひ)く　疾(はや)い　撥(ばち)

地(じ)

地震(じしん)　揺(ゆ)れ　非常(ひじょう)　持(も)ち　出(だ)し　行(ゆ)く　脚(あし)

動(うご)く

動(うご)く　機械(きかい)

共(とも)

共(とも)に　恵(めぐ)む　行(ゆ)く　鉦(かね)

家(いえ)

家(いえ)　信(しん)　宅(たく)　処(ところ)

帝(みかど)

帝(みかど)　住(すま)ひ　屋(や)　敷(しき)

意(こころ)

意(こころ)　動(うご)く　機(はた)　織(おり)

軍(いくさ)

軍(いくさ)　従(したが)ふ　往(ゆ)く　路(みち)　巷(ちまた)　都(みやこ)

墨(すみ)

墨(すみ)　色(いろ)　風(かぜ)

陣(じん)

陣(じん)　営(えい)　茶(ちゃ)　屋(や)　地(じ)　雷(かみなり)

獄(ごく)

獄(ごく)　舎(や)

代(かわり)

代(かわり)　百(もも)　人(ひと)　声(こえ)　磨(みが)く　研(と)ぐ　狭(せま)い

花(はな)

花(はな)　束(たば)　活(い)ける　瓶(かめ)　挿(さ)す　枝(えだ)　葉(は)　蕾(つぼみ)　咲(さ)く　散(ち)る

活(いき)

活(いき)　生(い)ける　花(はな)　瓶(かめ)　挿(さ)す　枝(えだ)　葉(は)　蕾(つぼみ)　咲(さ)く　散(ち)る

通(とほ)

通(とほ)る　往(ゆ)く　来(く)る　人(ひと)　車(くるま)　馬(うま)　電車(でんしゃ)　自動車(じどうしゃ)

歩(あゆ)

歩(あゆ)む　行(ゆ)く　来(く)る　人(ひと)　車(くるま)　馬(うま)　電車(でんしゃ)　自動車(じどうしゃ)

富家(ふうか)

富(とみ)　家(いえ)　ある　徒(いたず)らに　金(かね)　ハは　絆(きずな)　の　ない　ある　気(き)　の　尾(お)　れ　まる　気(き)　の　尾(お)　錨(いかり)



富尾(とみお)

富(とみ)　尾(お)　錨(いかり)

昨日(きのう)

昨日(きのう)　遊(あそ)ぶ　昔(むかし)　日(ひ)　血忌(ちいみ)　長病(ながやまい)

昨日(さくじつ)

昨日(さくじつ)　逝(い)く　日(ひ)　死期(しご)

二年(にねん)

二年(にねん)　寅申巳亥　三四五　子午卯酉　六七八　丑未辰戌

行(ゆ)く

行(ゆ)く　年(とし)　別(わか)れ　地主(じぬし)　権現(ごんげん)　鎮守(ちんじゅ)　地祭(じまつり)　智積院(ちしゃくいん)　僧(そう)

嫁(よめ)

嫁(よめ)　婚(こん)　家(いえ)　取(と)り　地頭(じとう)　下人(げにん)　住持(じじ)　郎(ろう)　人(ひと)　民(たみ)　定使(じょうし)　騒(さわ)ぐ

聴(きく)

聴(きく)　女中(じょちゅう)　色(いろ)　父母(ふぼ)　乳子(ちのみご)　張(は)り　良(よ)い　仲尼(ちゅうじ)　也中将姫(なかじょうひめ)　智識(ちしき)

乳(ちち)

乳(ちち)　腫(は)れ　葉(は)　磐(いわ)　微屋(かたつむり)　役(やく)　漆(うるし)　乳房(ちぶさ)　癌(がん)　血道(ちのみち)　脇腹(わきばら)　痛(いた)む

癌(がん)

癌(がん)　病(やまい)　兄(あに)　治(なお)す　病(やまい)　重(おも)い　中風(ちゅうふ)　気(き)　暑(あつ)い　熱毒(ねつどく)　加(くわ)



屠蘇 元日の朝屠蘇酒を飲めば一年中の疫病を免るゝの義なりと云

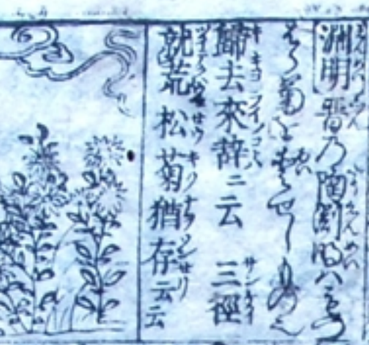
▲赤小豆十四粒 三角の袋に入れ井の傍にて元日の朝汲初めの水にて浸し置き其水にて屠蘇酒を調ずるなり

▲赤木 桂心 山椒 桔梗 各七分五厘 頭二分五厘

▲大黄 防風 一両 草蘇 五分



陶朱公の商計 そろばんはもちやせぬ



歸去來辭ニ云 三徑就荒松菊猶存云云



洲明 晋の陶劉伶 そろばんはもちやせぬ

歸去來辭ニ云 三徑就荒松菊猶存云云

洲明 晋の陶劉伶 そろばんはもちやせぬ

歸去來辭ニ云 三徑就荒松菊猶存云云

洲明 晋の陶劉伶 そろばんはもちやせぬ

歸去來辭ニ云 三徑就荒松菊猶存云云

洲明 晋の陶劉伶 そろばんはもちやせぬ

歸去來辭ニ云 三徑就荒松菊猶存云云